

パンデミック下の病院実習とワクチン接種

学長室から

竹屋 元裕



11月23日に第12回熊本県医療人育成総合会議講演会（主催：肥後医育振興会、後援：熊本日日新聞）が熊本大学医学部で開かれました。

「パンデミック下の病院実習とワクチン接種」をテーマに私を含む6名の演者が登壇し、県内の教育機関や医療機関から約80名、本学からも4名の参加がありました。

私の演題は「医療系大学における学生へのワクチン接種とその課題」で、7～9月に実施した職域接種の概要と副反応や抗体価の推移について報告しました。従来との報告と同様にファイザーワクチンに比べモデルナでは副反応がやや強く、一方で抗体価は比較的維持されているという結果でした。

それでも2回目接種から3ヶ月経過すると抗体価はかなり低下しており、3回目接種は必須と考えられます。総合討論では未接種者への対応や3回目接種を巡って活発な議論が交わ

されました。更にコロナ禍における教育体制に関して、臨地実習の重要性とともに部活動やグループ活動等で教員と学生および学生同士が直接顔を合わせることが、人間教育に重要であることが再認識されました。

現在、全国的に新規感染者数は落ち着いていますが、年末年始の人流の増加や海外での感染者の急増、更には新規変異株であるオミクロン株の出現など、不安材料が一杯です。第6波にそなえて万全の準備が必要です。

総合討論で熱く語る
（写真提供：熊本日日新聞）



難病患者との交流、支援活動を評価

「Lovers」に内閣府特命担当大臣表彰

本学学生でつくる医療ボランティアサークル「Lovers～難病患者・家族を支える会～」が、令和3年度「未来をつくる若者・オブ・ザ・イヤー」の内閣府特命担当大臣表彰に選ばれ、11月25日（木）、内閣府講堂で野田聖子内閣府特命担当大臣から表彰を受けました。

「未来をつくる若者・オブ・ザ・イヤー」は、子供や若者による社会貢献活動の中で顕著な功績があった個人及び団体を表彰するものです。

「Lovers」は、長年にわたる難病患者との交流や支援活動が高く評価されました。表彰式に出席した部長の清家佳歩さん（リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻2年）と中村朱里さん

（同）によると、賞状を受け取る際、野田大臣より「私の子供も障がい児だからお互いがんば

りましょう」とコメントをもらったということです。

なお、表彰式の模様は、同日、関係者向けにYouTubeでライブ配信されました。また、30日には熊本日日新聞の取材を受けました。



内閣府特命担当大臣表彰を受けた「Lovers」メンバー

次週の週刊NEWSLETTERでは「Lovers特集」を予定しています。お楽しみに！



「心地よさ」は回復のための薬

杉本講師 ユマニチュードの技法紹介

図書館主催「私の部屋でランチを」が18日（木）、キャンパステラスで開催されました。今回はキャリア教育研修センターの杉本智波講師（脳卒中看護専任教員）が「ユマニチュード 『心地よさ』を届けるケア技術」と題して講演。27人が参加しました。

ユマニチュードとは、フランスで生まれたケアの技法で、ケアを受ける側にとって心地よさとは何かという視点が重

視されています。

杉本講師は「人と人が関わることで生まれる関係性の重要性に着目したケアこそがユマニチュードだ」と語り、正面から、近く、水平に、長く見つめることで、それまでしゃべることもできなかった患者が会話できるようになるなど、ユマニチュードの技法を用いたケアの様子も動画で紹介しました。



ユマニチュードについて語る杉本講師

銀杏アラカルト

本学「スポーツヘルスサイエンス事業」 アスリート支援の現場 特別番組で紹介

本学が取り組む「スポーツヘルスサイエンス事業」が、4日（土）10時35分から、テレビ熊本（TKU）の特別番組で紹介されます。

「“生きる”をひらく スポーツヘルスサイエンス～熊本保健科学大学の新たな挑戦～」と題した約1時間の放送では、水上村の準高地クロスカントリー施設「水上スカイヴィレッジ」での高校生アスリート支援の詳細や、熊本県スポーツ協会と連携した「くまもとワールドアスリート事業」への取り組み等が、関係者へのインタビューを交えながら紹介されます。

TKUでは7月から取材を重ね、これまでTKUライブニュース内の特集コーナーでも2回紹介してきました。今回の特別番組では、随所に本学のキャンパスや授業風景も織り込まれています。ぜひ視聴ください。

テレビ熊本
4日
10時35分～
11時30分

◆心と体の健康づくり研修会 衛生委員会主催の「心と体の健康づくり研修会」が11月29日（月）、オンラインで開催され、北海道・士別市立病院 内視鏡センターの佐藤貴幸先生が「内視鏡の重要性と治療の実際」と題して講演しました。佐藤先生は、死亡者数・罹患者数ともに多い消化器疾患に対して内視鏡が大変効果的である点を様々な検査法と治療法を挙げながら、わかりやすく解説しました。さらに、「40代以上の方は、ちょっとした症状と自己診断しないで、定期的に内視鏡検査を受けてほしい。内視鏡は今、つらくない検査になりつつあります」と語りました。当日は教職員45人が参加しました。聴講後、早速「内視鏡検査を受けよう」という声が聞かれました。（衛生委員会）

インフォメーション

■クリスマスイルミネーション 12月6日（月）17時頃から、3号館入り口前通路からキャンパススクエア、2号館下大学看板にかけて、クリスマスイルミネーションが点灯します。こののために学友会で準備を進めてきました。期間は25日（土）までで、時間は17～21時頃です。

週間行事予定（12月4日～12月10日）

12 / 4（土）	助産別科 一般入試 認定看護師教育課程（脳卒中看護分野）
12 / 5（日）	チャレンジ熊保大！一般選抜対策講座